

たと思われる廃道があって、それをたどると自然に峠駅に行きついた。(記)

6. 夏山合宿・安達太良一斉遡行
(1977年8月6~7日)

はじめに

今年の夏山合宿は安達太良一斉遡行という形式で8月6,7の両日おこなった。さいわい天候にめぐまれ、4本の沢を完登することができた。すなわち湯川・仏沢・迷沢・石川である。安達太良の沢自体はそれほど困難ではないが、これだけの沢を一斉に遡行となればまた話も別だ。以下その時のもよみを報告する。



[記録]

8月6日 福島より列車にて磐梯熱海へ。これより石筵牧場へバスにて行く。ここから銚子滝を見学、その上流にて幕営する。

8月7日 早朝遡行開始。F1 30m 2段まで暗い川原状を進む。F1は下段が、左岸オーバーハング状になっており空身、ザイル補助にて登る。F1上段を登ると、この上からナメがきれぎれに続いている。長さは50~150mがほとんどだった。F2 10mをすぎると3段のF3 20mへと続き、これを直登する。しばらく進むと、水道パイプが右側にあった。F4 8mの滝をすぎると、もう滝らしい滝がなく、ナメも少なくな

り、平凡な沢となってしまう、視界もひらけてくる。左岸の安達太良本山より流れる沢と、船明神と矢筈を結ぶ線より流れるカレ沢に分かれる所で、カレ沢にそって進み、稜線に登って遡行を終了。鉄山避難小屋にて他コースよりのパーティと合流し、下山する。

【タイム】

8/6 福島(12:45)——鶴梯熱海(15:30, 16:08)——石 牧場(16:30)
——幕営地(18:00)

8/7 幕営地(5:40)——稜線(11:25)——鉄山避難小屋(12:03, 13:00)
——くろがね小屋(14:00)——八幡滝(14:40)——塩沢スキー場(15:
35, 15:45)——福島(17:10)

迷沢

【パーティ】 子

【記録】

8月6日 福島(18:40)——橋(20:00)

小山さんの車で迷沢と仏沢のパーティは高森川の橋まで送ってもらう。迷沢の私と渡辺京子、それに仏沢の半沢君と加藤さん、菅野君とで迷沢の出合にビパークする。天気はよいが朝方非常にひえこむ。

8月7日 迷沢出合(5:45)——ポウリング跡(6:40, 6:50)——沢終了(11:00)——鉄山避難小屋(12:35)

朝食をとり出発、沢に入る。水は少々つめたい。出だしは快調にきれいなナメの上を歩く。鉄山の集合時間まであと7時間ほど。今日はあまり急ぐ必要もなさそうだ。6:40ポウリング跡に出る。ここまでは何もなくてつまらない沢だ。約1時間かかる。10分程小休止をし出発。5分ほどで初めて滝らしい滝に出合う。3mと6mの2段の滝でなんなく登れる。F5(7:45)にはそこから30分ほどでつく。写真などをとりながら小休止。小さな滝ばかりなので吾妻の沢ほどのだごみはない。F6をこえると100mほどのナメが続く。まもなく沢は分れる。右手の沢が迷沢で、ここから沢の水はかれてしまう。左の沢に入り、滝の下で小休止。またもどって迷沢を登り続ける。すぐにF8 15mが出てくる。前回きて直登できなかったのが、今回はザイルで直登することにした。残骸ハーケンを利用させてもらう。渡辺に確保してもらいながら登る。気持の良いものだ。写真をとったりして小休止したりで1時間ほど